人生劇場 みなと

夫婦で越えた幾山河 ―― 宇山義子さん(68)(弁天)

〔第7幕〕

〝やけくそ〟半分、一家で出かけた昭和57年夏のハワイ旅行。このあと夫の態度は改まった

(前号まで　昭和十六年、旧石田町に生まれた私は貧乏を薬に成長。近所で「孝行息子」と評判の夫と結婚。義父母を見送った。二人汗しての労働と不動産収入。家庭建設は軌道に乗ってきたと思っていた。が―)

◆「家族でハワイへ」

昭和五十七年の夏休み。長女が十九歳、長男が高一、次男が小三の時でした。私は突然、「家族でハワイへ行こう」と提案しました。これは表向き「仕事と勉強のご褒美に」ということでした。が、実際はそんな綺麗事ではありませんでした。

ことの発端はある結婚式に親族で出席することになっていた日の前日。式で中心的な役を担うことになっていた夫が突然姿を消したのです。皆で上を下への大騒ぎの末、夫は帰って来ました。が、その態度の不自然さに私は〝ピ～ン〟と来たのです。

というのも、夫には〝前科〟があったからです。それは、その時から遡ること十三年。当時小学生だった長女の運動会当日、「好意を持たれたけど何にもなかった」と言い出した真意でした。

◆成功だった〝賭け〟

一人十六万円、五人で八十万円の大散財に、夫は「な、何でこんな金使うてまった」(当時の夫の言い分)とかいう女性に、伊豆の温泉地まで会いに行っていたのです。「またか！」腹の虫が治まらなくなった私の「そんなことにお金を使われるくらいやったら…」というやけくそ半分の気持ち―それが唐突に海外旅行を言い出した真意でした。

◆成功だった〝賭け〟

一人十六万円、五人で八十万円の大散財に、夫は「な、何でこんな金使うてまで…」と戸惑い気味でした。

ハワイではアラモアナのホテルに泊り、サンセットクルーズを楽しみ、これまで味わったことのない開放感を満喫しました。特に子供らはとても喜び、長男はレンタル自転車で海辺を走り回っていました。

突然消えた夫に〝ピ～ン〟
やけくそで海外旅行

そんな一家揃っての楽しさに心洗われたのか、旅行後の夫から〝不審な動き〟はピタリと消えました。その意味では大枚八十万を張った〝ギャンブル〟は大成功に終わったのでした。

ところで後日、夫が言い訳したところによると、あの日突然姿を消したのは、「昔九州旅行で知り合うて一方的に惚れられた」仲居さんと会うためでした。「今、伊丹空港まで来てるから…」と電話があり、取るものも取り敢えず駆けつけたのでした。「けど何にもなかった。ちゃんと話したら、諦めてくれた」その彼女は夫より十歳下。踊りの免状も持つ美人だったとか。

◆風に消えたわだかまり

ともあれ海外旅行の魅力に嵌った私たちは、五年後にも香港へ旅行。その後も何度か海外旅行を楽しんだわけですが、中でも一番心に残っているのが平成八年の夫との欧州旅行でした。

フランス、ドイツからスイスへ回りました。アルプスの山上では三百六十度のパノラマに息を呑み、大きな救助犬と写真を撮ったりしました。その時のこの上ない幸福感は、この『人生劇場』冒頭で述べた通りです。スイスのブリエンツ湖畔では、それまでの夫への蟠りが爽やかな風に吹き流されたのを感じました。

さて、幸いなことに私たちは、子育てでは特に苦労することなく、三人とも素直に成長してくれました。とはいえ、どこの家庭にもあるようなトラブルは、当然ありました。

(つづく)

秋の一日を踊り歌う
仲良し会パーティ大賑わい

オープン時に勢揃いした門口光子代表(前列左から4人目)ら「仲良し会」会員

秋の一日を踊りや歌で楽しんでもらおうという「仲良し会パーティ」が十一月八日、港近隣センター(八幡屋)で開かれました。三回目。港区の社交ダンスグループ「仲良し会」が主催。

タンゴ、ルンバなどのリズムで軽やかにステップを踏むドレス姿の女性や黒シャツ姿の男性。「八木節」などの民踊に溌剌とした動きを見せる法被姿の女性連。「くれない草紙」などの新舞踊で艶のある身のこなしを見せる着物女性。「草枕」などの歌謡曲を情感込めて歌う老若男女―。何でもありの幅広さとざっくばらんな雰囲気が印象的でした。

社交ダンス愛好家として長年、様々な催しを重ねてきた同会代表の門口光子さん(港晴)は、「今日はわいわいがやがやと一日楽しく過ごして頂きました。日頃のレッスン風景を思い浮かべて下さい。ぜひ一度見学に」と話していました。

レッスン　ダンス(藤井信二講師)は水・土曜午後一～三時に港スポーツセンターで、民踊(山本美恵子講師)は水曜午後七時半～九時に港近隣センターで。☎〇九〇―四二八三―四七四七門口。

個性生かしのびのび
「楽彩会」絵画展に来場多数

港区の絵画グループ「楽彩会」による展示会が十一月五～十日、港区役所前の「ギャラリーはたなか」で催されました。十二回目。静物や風景をパステル、水彩、油彩などで描いた三十数点が飾られ、来場者が「色づかいがきれいやね」などと語り合っていました。

会員のうち松本巧さんはパステル、妻の勝美さんは水彩で出品。二人とも兵庫県出身で、「三年後の夫の八十歳を機に二人展を開けたら」と夢を語っていました。

同会は奈良県在住の画家・深町剛さん(六一)を講師に二十一年前に発足。深町さんは美術研究所(守口市)に十数年間学んだ後、独自の画風を確立。同会の他にも福祉施設で教室を開くなど指導にも力を注いできました。指導に当たってはデッサンを基本に、「何よりも一人ひとりの個性を生かすこと、のびのび楽しく描いてもらうこと」を心がけているそうです。

明るく和やかな雰囲気が印象的な「楽彩会」の皆さん(左から2人目が深町講師)

楽彩会　港区教室は磯路二丁目の公団第二棟集会所で毎週火曜午後一時半～四時開設。☎〇七四三―三五―四五七一深町講師。

文化短信

■築港出身・岡田克彦さんが木彫展　築港出身の木彫刻家・岡田克彦さん(寝屋川市在住、現代彫刻美術協会代表)と同協会会員による創作展「岡田克彦ウッディアート展&現代彫刻美術協会展」が十月二十七日～十一月八日、海岸通ギャラリーCASOで開催された。展示作品は「出船」「時雨」「勇者」などの題名が付けられた岡田さんの壁面及び立体三十数点と会員による二十数点。どの作品からも木の生命力や温もりが伝わってくるようで、来場者は作品に直接手を触れて木の感触を確かめたりしながら鑑賞していた＝**写真は立体作品で遊ぶ来場者を見守る岡田さん**(左)。岡田さんは、「私の作品は全部触ってもらってOK。木彫には自然との触れ合いがあり、そこから創造の喜びが生まれてきます。こうした展示会も、遊び心をもって回って頂ける場にしたいと心がけています」と語っていた。岡田さんは一九四三年築港に生まれ、築港小、港中を卒業。七七年から作家活動。創作工房は寝屋川市池田新町一九―四三―一〇一、☎〇七二―八二八―五五一五。

演劇ガイド

●あんがいおまる一座『クリスマス映画大会』　年末恒例の映画大会。十二月二十三日(水祝)。第一部(十三時と十五時五十分)はチャップリン初期喜劇の名作『チャップリンの消防夫』(無声・弁士付)とA・ラモリスの詩情豊かな『白い馬』。第二部(十四時半と十七時二十分)はチャップリンの幻の名作『午前一時』(無声・弁士付)とラモリス『赤い風船』。各回当日一般千三百円(通し券、子供券あり)。終了後、弁士を囲むパーティ(二千円)。申込は会場の石炭倉庫(波除六―五―一八、JR弁天町駅から国道四三号を北へ直進、安治川堤防突当り右すぐ。☎六五八一―〇六六四)へ。

忘・新年会は双子すしで
旨い!安い! まごころでサービス!
ご予約はお早めに!
朝11時～深夜1時 年中無休
昼ランチ 11:30～13:30 大好評! 500円均
鰻丼・握り定・鉄火丼・ネギトロ丼・双子定
会席・仕出し・弁当・すし
㈲双子すし
本店 磯路3-26-6 ☎6577-9730
別館 磯路3-20-2 ☎6577-0250
別館 本店 カーム 三井住友銀 珊瑚礁 みなと通り 南風 UFJ銀 至朝潮橋 至境川

来年3月頃入居開始!!
新築オール電化マンション
港区で最も人気の磯路ベイエリア
2LDK 58.80㎡ 賃料101,000円～
●IHコンロ ●追焚きバス ●オートロック ●防犯強化 ●耐震耐火RC構造 ●TVドアホン ●光・地デジ対応
礼金・保証金・更新料は0円
(株)マリンブルー 磯路3丁目26-9 三徳船舶ビル8F ☎6576-1016
http://marine-blue.co.jp
お問合せ・資料請求先は info @marine-blue.co.jp
まごころサービスでお迎え!
初めての方もぜひ一度お立ち寄り下さいませ!
弁天3-24-3 ☎6574-2900
日通倉庫 鴻池倉庫 43号線 ココドンキホーテ オーク 中央大通 弁天町駅 至朝潮橋
永大サービスのガソリンスタンド

豊かで、快適な暮らしを守る永大
安心できるお引っ越し
★当社は地元の方々へのサービスがモットーです。
★引越に伴う不要品を引き取ります(一部有料)。
トランクサービス
●建替え、増築などの一時預かりに最適!
●引越し、引取りが大幅に安くなります!
●ご連絡があり次第、当社がお伺いします!
安心保管
安さに挑戦 永大トランク引越サービス
0120-07-9990 TEL6584-7771 FAX6584-7773
■本社／港区波除6-2-9 ■http://wwwl.ocn.ne.jp/～eidai/
■受付／平日(月～金)AM8:00～PM7:00 (土日祝)AM9:00～PM6:00